

クローズアップ NGO・NPO

市民活動グループええじゃん (Asian)

副代表 尹^{ユン} 成化^{ソンハ}

日本一の移民の町から日本一の共生の町へ！

皆さま、私は広島県廿日市市で市民グループええじゃんの副代表を務めさせていただいております尹^{ユン}成化^{ソンハ}と申します。

今日は皆さまにええじゃんの活動を紹介させていただきたく筆をとりました。ええじゃんは2004年4月から名前を掲げてはいますが、その以前から廿日市を拠点に活動をしていました。廿日市市は世界遺産宮島厳島神社を抱え、広島市から廿日市の玄関口まではJRで20分の距離にあります。

現在、本市に在住する外国人は1千人弱ですが、農村部の外国人妻や留学生、実務研修生が増え、その属性は多岐にわたっています。特に近年は牡蠣打ち場などに中国人ほかの研修生も増えており、近隣住民との文化摩擦も増えています。

しかし、さかのぼれば廿日市市は明治元年以来多くの移民を海外に送り、彼らを通じて世界と絆を作り財政を維持してきた町でもあります。

今日は、逆に中国、フィリピンなどから移民を受け入れています。彼らの事情をおもんぱかることなく表面的な「交流！」を叫ぶのではなく、正面から向き合う姿勢こそが求められているのです。

「日本一の移民の町から日本一の共生の町へ！」
「お互いさま！」と心を開く「はつかいち」でありたい！

われわれ市民でできることだけはやっても「ええじゃん」との思いから、専門家、役所、公的団体などの力も借りて、外国人相談、同行支援を行ってきました。また、2010年度はマツダ財団の市民活動支援を受け、廿日市商工会議所、町内会、外国人を対象にアンケートを行いました。外

国人が日本で暮らしていくために、仕事の面では商工会議所と、生活の面では町内会と、日本で暮らす外国人を結びつけることを目的として実施したものです。

■ ニッポン生活相談

2008年5月から、ええじゃん単独で始めた外国人相談事業は、中国新聞の取材を受けた際「ニッポン生活相談」と命名され、そのまま今も継続しています。彼らの日本での相続、借家、交通事故、就職、進学など多岐にわたるトラブルの相談を受け、日本の制度を説明したり、窓口を教えたり、同行支援したりしています。

中でも、法的問題については法テラスで通訳者として弁護士相談のサポートをしたり、病院内で医師の説明を通訳したりしてきました。現在は全国からの相談も承っています。

■ ひなんじょ体験会

外国人との間に立ちの壁はだかる言葉と文化と制度の壁。非常時は心の壁まで顕在化し、一触即発の非常事態になりかねません。平時に模擬体験し、課題を抽出したうえで対策を練ることは、その危機回避のみならず、日常的な付き合い方も見直し改善することにつながります。

ええじゃんでは市の担当課と連携して、外国人や障がい者との共同の避難所体験会を実施しています。1回目は2011年10月2日、2回目は2012年9月23日、3回目は2013年9月29日、4回目は2014年10月5日に開催しました。



ひなんじょ体験会の様子

本市周辺の在住外国人や中国帰国者の多数の参加をいただき、日本人住民と膝を交えて避難所の体験を行うこの会は大変好評で、毎年1回は開催することとなりました。

2014年も例年のとおり、防災月間に合わせ、10月5日に第4回ひなんじょ体験会を実施しました。もともとは外国人と日本人住民の避難所体験会から始まりましたが、今年は障がい者の家族の参加が増え、手話・要約筆記者や精神保健福祉士などのプロにもボランティア参加していただきました。

体験会では、「大津波が襲来します。高台に緊急避難してください！」と必死で連呼しても、言葉の意味が分からないフィリピン人主婦、日本人の子どもたち、聞こえない難聴者、聞こえても動けない身体・精神障がい者たちがいました。また、たとえ助かったとしても、避難所や仮設生活の中で災害関連死が多発するとの話も聞こえてきました。

そして、実際にやってみると、私たち一般人が外国人や障がい者のことにいかに無知だったか！ということに気づかされました。6時間程度の体験会の中でも予期せぬ行動があり、とても危険で薄氷を踏む思いもしました。

今後も体験会を継続すべきと思っていますが、すでに4回、避難所体験会を続け、一定の結論も出たし、市、社会福祉協議会などへ改善のための提言も行ったので、来年度以降は、避難所体験も残しながらほかの生活トラブル（交通事故、医療、子どもの学校など）にも向き合いたいと思っています。

ます。

「はつかいち外援助隊」も募集中です。廿日市市や周辺で大災害が起こった場合、外国人被災者のサポートをするための、日本人・外国人の隊員登録を行っています。

■ その他

FM廿日市では2011年10月から2013年5月まで毎週、韓国語、英語、タガログ語、中国語の多言語で外国人に生活情報と母国の情報を届けました。必要に応じて、アンケートや市民フォーラム、文化・料理教室、潮干狩りなども実施しています。

日本一の移民県広島が日本一の共生の町となる日を夢んでいます。



活動紹介記事 (中国新聞 2012年10月16日)

ええじゃんでは、外国人住民の皆さまに活躍していただくとともに、次代を担う若者のご参加もお待ちしています。イベントやええじゃん Facebook ページ、ブログなどの SNS を利用して気軽にご参加ください。

HP: //www.h-asian.org

(トップページに「ひなんじょ体験」の動画があります。)

FB: //www.facebook.com/asian.

org?ref=bookmarks

上記のほか、廿日市市民活動センターのホームページや Facebook などにも掲載しております。ぜひ遊びに来てください。